

週刊 学びのコミュニティー

第 67 号

平成 22 年 12 月 8 日発行

【報告】 「大学教育学会 2010 年度課題研究集会」に参加して

11 月 27 日から 28 日に大学教育学会 2010 年度課題研究集会が西宮市にある武庫川女子大学で開催されました。秋の課題研究集会は毎回テーマを決めて実施するのですが、今回は「キャリア形成における大学教育－ライフサイクルの視点から－」が統一テーマでした。来年 4 月から大学設置基準にいわゆるキャリア教育が義務化されるということで、各大学とも新しい授業の準備をしているようで、大変活発な議論がなされました。ここでは 2 つの論点を紹介するとともに、私たちの取り組み「学びのコミュニティー」について改めて考える機会となりましたので、ご報告いたします。

1 つ目は「キャリア教育」の定義です。就業力という言葉も頻繁に使われるようになっていますが、一見すると各自の就職などの進路を考えるための教育ということを思い浮かべがちです。しかしながら、一時期の能力を獲得し・個人とマッチングさせるだけでなく、個人の生涯過程を変化の移行としてとらえ、個人のライフスタイルまでも考える広義のキャリア教育と捉えるべきだろうという提案がなされました。それは大学における学士課程教育に盛り込まれている自己理解・他者理解・世界理解という点の多くは教養教育そのものであって、キャリア教育は大学教育と矛盾しないという主張になります。現代の知識基盤社会においては、大学時代に獲得した専門知識だけで一生の仕事が続けることは困難であり、自分の資質と社会（職業）とのマッチングを常に模索し続けることができる能力の獲得がキャリア教育の目的と

いっても良いでしょう。私たちの取り組みにおいては「学びのコミュニティー」を通じて、学生は社会人の背後にある社会を感じとり、そして学生ひとりひとりが資質を向上させ、そして社会にその成果を還元するという設計になっています。現在のところ明確にキャリア教育のみを目標としているわけではありませんが、教養教育とキャリア教育のバランスの取れた取り組みになっていると思われまます。2 点目は生涯教育の観点から見た大学教育についてです。3 名のシンポジストが、これからの大学教育においては、18 歳～22 歳だけでなく、広い年齢層に対する生涯教育の要素を含んでいくことが大切であるという点に言及しました。これまでの日本の大学では専門職業人育成の観点からワークキャリアを作り上げるために教育がなされてきましたが、それだけでなくライフキャリアを作り上げていくために必要な教育をこれから研究し、実践していくという意味での生涯教育ということになります。大学は、企業や地域社会さらには家庭と連携した活動を模索し、これを通じて互いに成長する学生に加え、教員も互いに成長し、学問教育共同体を目指そうという提案です。徳島大学においては、大学開放実践センターにおける生涯教育の蓄積があり、そして学びのコミュニティーの取り組みは、生涯教育と教養教育の融合を目指したものになります。私たちの取り組みを今後全国に発信していくことが重要となっていくと考えています。最後に興味深いと感じたエピソードをひとつ紹介します。会場校である武庫川

女子大の教育学部の学生がシンポジウムに参加していました。大学教育の目的とその方法の構築の舞台裏を学生に見てもらおう意図があったと思われる。参加学生にコメントを求めたところ、「キャリアデザイン力を身につけるためには私は何をしたらよいでしょう」という質問が学部1年生か

らありました。武庫川女子大の就職担当者は「その安易な態度が駄目だ」と叱っていました。様々な教育機会を用意する中から、自律性を高める教育を目指す努力をしたとしても、一方で他律的な学生が生まれかねないということを再認識させてくれる「興味深い」質問でした。（斉藤隆仁）

【ご案内】

中国語を使ってみよう♪

中国語講座



日時：水曜日午後 13：00—14：20

場所：4号館1階学生支援室

せっかく学んだ中国語、実際に中国の各地の留学生と話しをして使ってみませんか。

社会人と学生の交流のゼミナール形式です。留学生の目で見ると日本や、中国語の勉強、中国文化などを理解できるだけでなく、グローバル化社会についても、外国人と話すことで、お互いの考え方に気づくことができます。他にも、中国語を話しながら中華料理を作ったり、餃子パーティーなどの楽しい活動もありますよ！中国語や中国文化に興味のある方、ぜひ参加してください。

毎週水曜日、13時より中国からの留学生・陳洪芹さんによる『中国語講座』が開かれています。日本語もとても上手な陳さん。丁寧に質問に答えてくれたり、日本人には理解しにくい中国語の使い方など、詳しいレッスンで、参加者の方も熱心に取り組んでおられます。せっかく中国語を履修しても使う機会がない、また実際に留学生と話してみたいと思っている方、もちろん初心者の方もぜひご参加ください。とてもリラックスした雰囲気楽しく中国語、学べますよ！！



～編集後記～

先週は、学生の自主活動グループによる“ミニしゃべり場&餃子パーティー”や“星空観賞会”など、様々な催しが開催されました。年齢や性別、国籍を越えて人々が集まり、語り、時間を共有することができる。まさに大学の醍醐味ではないでしょうか。そこから視野を自由に広げ、様々なことにチャレンジできるのも大学時代の素晴らしさ。学生のみなさんの企画、お待ちしております！